

2014年 7月18日号(61号)

# みらい 未来への扉 とびら



高等特別支援学校 支援部

## いよいよ夏休み！

出勤途上、卒業生が仕事に向かうところに出会いました。にこやかに手を振ってくれる姿に“お互い頑張りましょう”という気持ちで手を振り返りました。

40日もの長い夏休みが与えられる「学校生活」も本校での夏休みが最後です。社会に出れば、これだけまとまった休みは取れません。本校での夏休み、普段できない「何か」にチャレンジして一回り成長してくれる事を願って、子どもたちを応援したいものです。

〈自主性を大切に〉

小言や指示が多くなる夏休み、ポイント（・我が家の門限は〇時 ・食事の時間は守る ・犬の世話は貴方に任せ等々、各ご家庭での「これだけは・・・」だけ押さえれば、後は本人の自主性を尊重しましょう。

学習も生活も「やらされてる」と思えば嫌々になりますが、自分が決めたことならばやり遂げようという気持ちが出てくるのではないのでしょうか。

〈本人の計画を支援〉

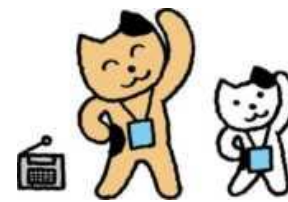
各学年から「夏休みのくらし」のしおりが配布されています。自主性にまかせつつ、保護者の方からの欄には是非、「貴方のこと見ていますよ。」の思いを込めて一言記入していただけたらと思います。面と向かって言いくかたり、照れくさいほめことばも「書く」ことでお互い、客観視できます。

期日や優先順位がはっきりした方が、取り組みやすいものです、「あぶないな（計画倒れになりそう）」と感じられましたら、良きアドバイスを。

〈失敗から学ぶ〉

失敗は成功の元、とはいうものの「だから言わんこっちゃない」と言いたくなる事態も起きてくることでしょう。小言を言いたい所をグッとこらえて、大人の対応を。

どうすれば良かったのかを考えさせるいい機会です。失敗したから「もうダメ」と思うのではなく、あきらめずに修正していける姿勢は将来にわたって大事な事です。「自分だったらこうするな」と保護者の方が見本を見せて下さるのもいいかもしれません。「大人ってカッコイイ」と子どもたちに思ってもらえたら最高ですね。



## 昼食作りは自分たちで

高特の授業では、毎週調理の時間があります。せっかく学んだスキルを家庭でも生かせる機会があるといいですね。1学期のメニューの中で人気のあったものをご紹介します。

\*1年生「ミニホットドッグ&ラッシー」

カレー味のキャベツがポイントのホットドッグは大人気の王道メニュー。ヨーグルトと冷たい牛乳で作るラッシーは夏休みにぴったり！

\*2年生「からあげ・ポテトサラダ」

ダントツの1位です！からあげは市販の粉をまぶすだけ☆ 料理が苦手な人も大丈夫。油の扱いには注意してくださいね。



\*3年生「からあげ・麻婆豆腐・フルーツポンチ・オムライス」人気の麻婆はピリッと辛い本格中華。でもフライパン一つでできます。ハヤシソースがかかったオムライスもおすすめ！

## うちの先生♪ 松本智圭先生

〈◆ゴシック、(ゴシック)はレポーターY〉

☆松本智圭先生にお話を聞いてみました～☆



◆先生と言えば手がとっても大きいですね！ それはさておき教務部長をされていますが、教科の担当はなんですか？  
社会（政治経済）です。木工も担当しています。

◆ご家庭では家庭科分野も担当されているとか…？

（^^；はい。たまにですが朝食や子どものお弁当を作りますよ。（朝ごはんには何を？）貝だくさんのお味噌汁です！自宅が田舎ですのでどこへ行くにも遠いので子どもの用事の送迎もしていますよ。洗濯物も少し。（ご夫婦で協働体制が取れているんですね。素晴らしい！）今年は「しそジュース」も仕込みましたよ♪（ぜひ私にも分けてください☆）

◆さてもう夏休みになりますが、夏のご予定は？

もちろん、仕事です！？（笑）でも本音は、しっかりと休みを取りたいですね。1週間くらいまとめて取りたいです。とにかく暑いところが苦手ですから北の涼しいところに逃げたいです。（誰よりも早い時期から誰よりも遅い時期まで半袖ですもんね。）

◆北の涼しいところでどう過ごされるんですか？

山に登ったりトレッキングをしたりしたいです。（お1人で？）仲間と行くのも好きですが1人で行くのも好きですね。静かなところが好きですね。車内泊やテント泊もよくしていました。以前は上の子どもと一緒に家族で出かけていましたが、この夏は小学生の娘と二人旅が出来たらいいなあ～と思っています。そろそろ父親に付いてきてくれるのも最後かなあと思っています。（お嬢さん、5年生ですもんね。ステキな思い出になると良いですね☆）

◆あこがれの山ってあるんですか？

外国の山にはまだ行ったことがないんですが、アラスカのマッキンリーに行ってみたいです。（暑がりですもんね（笑））（いえいえ、とても過酷な山じゃないですか。でもいつか必ず行ってその偉大さと自然の素晴らしさ、そして寒さを体感してきてください☆）